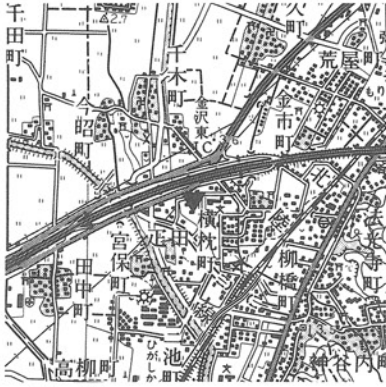


石川・千木<sup>せぎ</sup>ヤシキダ遺跡

- |   |               |                       |
|---|---------------|-----------------------|
| 1 | 所在地           | 石川県金沢市千木一丁目・疋田三丁目     |
| 2 | 調査期間          | 第三次調査 一九八九年(平一)九月～一二月 |
| 3 | 発掘機関          | 金沢市教育委員会              |
| 4 | 調査担当者         | 出越茂和                  |
| 5 | 遺跡の種類         | 官衙跡                   |
| 6 | 遺跡の年代         | 古墳時代～中世               |
| 7 | 遺跡及び木簡出土遺構の概要 |                       |

千木ヤシキダ遺跡は、金腐川右岸に位置する古墳時代から中世にかけての複合遺跡で、これまでに行なわれた発掘調査は四次に及ぶ。



(金 沢)

第三次調査における主な  
検出遺構には、平安時代の  
大型の両面廂付き掘立柱建  
物を中心に、井戸・堀・地  
鎮遺構などがある。地鎮遺  
構には、計七七枚の皇朝銭  
が使用されており、特筆さ  
れる。

今回紹介する木簡は木扇

の断片で、大型建物に付随するSE〇二から一点出土した。SE〇二は、上段が蒸籠組み、下段が縦板組隅柱横棧留めの二段構造の井側をもち、底に炭・小石・粗砂からなる浄水機能が付加された特殊な井戸である。井戸は廃棄される時に、板を四角形に組む一辺一六cm程の枠を中央に埋め込み、木製祭祀具として人形・刀形・斎串を周辺に納めている。なお、墨書土器は遺跡全体で九五点を数え、「魚」が多い。SE〇二から出土したものとしては、「本」「東」「万」などがある。

8 木簡の釈文・内容

[illegible]

スギ材の扇骨に墨書されている。下端は半円形に仕上げられており、直径2mmの孔をもつ。扇面経もしくは転用木簡の可能性が考えられる。

9  
関係文献

金沢市教育委員会・金沢市疋田第二土地区画整理組合『金沢市千木ヤシキダ遺跡Ⅱ』（金沢市文化財紀要八六、一九九一年）

(出越茂和)

